

5 文化・科学技術・スポーツ

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	02企画費	01企画総務費	※ 415,436
一般	02総務費	02企画費	02計画調査費	2,167,979
一般	05労働費	01労政費	01労政総務費	※ 3,066,353
一般	07商工費	02工鉦業費	01工鉦業総務費	※ 642
一般	07商工費	02工鉦業費	02中小企業振興費	1,432,881
一般	07商工費	03観光費	01観光費	※ 1,132,205
一般	08土木費	02道路橋りょう費	03道路新設改良費	※ 16,743,539
一般	08土木費	04港湾費	02港湾建設費	※ 1,712,565
一般	08土木費	05都市計画費	03公園費	※ 1,356,783
一般	10教育費	06社会教育費	03文化及び文化財費	748,637
一般	10教育費	06社会教育費	04文化の森総合公園文化施設費	766,156
一般	10教育費	06社会教育費	05郷土文化会館運営費	140,663
一般	10教育費	06社会教育費	06子ども科学館費	373,075
一般	10教育費	06社会教育費	07文学書道館運営費	172,195
一般	10教育費	07保健体育費	02体育振興費	909,176
特別	01中小企業・雇用対策事業費	01中小企業・雇用対策事業費	01中小企業・雇用対策事業費	102,514,476

1 文化の振興

1 芸術文化活動の充実（とくしま文化振興課，教育文化課，文化の森振興本部）

1(1) 文化・芸術活動の創造・発表・鑑賞機会の充実

ア 芸術文化鑑賞機会の充実

とくしまきらり芸術文化事業やあわ文化プログラム推進事業及び文化庁事業の実施，クラシックコンサートの開催等により，県民が優れた芸術文化に触れる機会の充実を図った。

- 徳島県児童演劇地方巡回公演 2公演
- 文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－ 30公演
- クラシック音楽演奏会 6公演
- ジャズが流れる街，徳島推進事業 1公演

イ 徳島県民文化祭事業

県民一人ひとりの幅広い文化活動への参画を促進することにより，地域の文化振興と県民の誇りや心豊かな暮らしの創出を図るため，メイン事業として着物ファッションショーと邦楽のコンサートや分野別フェスティバル等を実施した。

ウ 地域の文化振興事業の推進

県内の芸術文化団体等と連携を密にして、学校への芸術家派遣事業などで活用を図った。

また、県内の文化団体を県外へ派遣することにより、県外文化団体との交流促進や地域文化の活性化を図るとともに「あわ文化」の魅力を発信した。

エ 顕彰制度の充実

○ 県文化賞の贈呈 受賞者 坂本 三千一

○ 阿波文化創造賞の贈呈 受賞者 有内 則子

1(2) 文化施設の整備充実

ア あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の充実

人形浄瑠璃フェスティバル等の文化事業を実施するとともに、ホールや展示室等を県民の利用に供した。

○ あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）利用者数 412,297人

イ 文学書道館の充実

文学及び書道の特別展や教育普及事業等を実施するとともに、展示室や講座室等を県民の利用に供した。また、文学書道資料の調査研究、収集・整理に取り組んだ。

○ 文学書道館利用者数 50,767人

ウ 阿波十郎兵衛屋敷の充実

阿波人形浄瑠璃振興の中核施設として、定期上演等を行うとともに、鑑賞講座や母屋等を活用した企画を実施し、阿波人形浄瑠璃の魅力発信に取り組んだ。

○ 阿波十郎兵衛屋敷利用者数 28,494人

1(3) 文化情報の提供手段の充実

ア 文化情報ネットワークの推進

文化の森各館所蔵資料データベースの充実、データベースの利用普及、各種文化情報の提供等を行った。

データベースの入力状況（平成29年3月末現在）

データベースの種類	入力件数（件）
図書館データベース	1,666,207
博物館データベース	533,852
美術館データベース	106,406
文書館データベース	269,087
計	2,575,552

2 徳島の文化の担い手づくりの推進（とくしま文化振興課）

2(1) 文化団体の育成，指導者の養成

ア 二度にわたる国民文化祭の開催により高まった文化振興の機運を継続させ、文化資源の活用による「人材の育成」、「あわ文化の継承・発展」、「地域の活性化」に取り組む市町村、文化団体等に対

して助成した。

- 次世代・後継者育成事業 12件 2,770千円
- 国文祭成果継承事業 32件 13,370千円
- 地域活性化支援事業 2件 1,150千円

イ これまでの実績・成果を生かして、新しい芸術文化活動に取り組む市町村、文化団体等に対して助成を行った。

- あわ文化挑戦プログラム事業 9件 2,920千円

2(2) 文化の担い手の養成

演奏会の出演者等に講師を依頼し実技指導の場を設けるなど、文化の担い手の養成を図った。

3 文化を育む環境づくりの推進（とくしま文化振興課）

3(1) 創造環境の充実整備

ア 公益財団法人徳島県文化振興財団の文化事業

県民の幅広い文化活動を支援し、新しい県民文化の創造と発展に寄与するため、公益財団法人徳島県文化振興財団の平成28年度事業として、自主事業2件、共催事業2件、補助事業11件を行った。

イ 「あわ文化」の創造と発信

参加体験型文化イベント「あわ文化学校」をはじめ、「藍染作品展」、「とくしま記念オーケストラ第5回定期演奏会」、あわ文化情報誌「あおあお」の発行などにより、「あわ文化」の魅力を国内外に発信した。

3(2) 「とくしま文化の日」の推進

平成25年3月に制定された「とくしま文化の日を定める条例」の趣旨を広く県民に普及させるため、「とくしま文化の日」及び「とくしま文化推進期間」において、文化関係施設の常設展観覧料を無料とする日を設けるほか、県文化賞の贈呈式を行うなど、条例制定の趣旨にふさわしい取組を行った。

- とくしま文化の日 毎年11月第2日曜日
- とくしま文化推進期間 毎年11月3日から同月第3日曜日まで

4 学校における文化・芸術活動の推進（教育文化課）

4(1) 学校における文化活動の振興

ア 県高等学校文化連盟及び県中学校文化連盟へ活動費補助金を交付し、文化活動の活性化を図った。

イ 文部科学省や文化庁の事業を活用し、学校に芸術家等を派遣し、講話や実技披露を行った。

- 文化芸術による子供の育成事業－芸術家の派遣事業－ 16校

ウ 「ふるさと文化人材バンク」を活用し、学校にあわ文化に関する外部人材を講師として派遣した。
58校

エ 「文化芸術リーディングハイスクール」に指定した、芸術科を有する県立名西高等学校で、外部講師によるスキルアップ講習を29回実施した。

オ 県立那賀高等学校、城北高等学校、小松島西高等学校勝浦校の人形浄瑠璃部に対して外部講師によ

るスキルアップ講習を25回実施し、ジュニア浄瑠璃フェスティバルや地域のコミュニティ等での公演を行い、高校を核として地域活性化を図った。

4(2) 全国高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第40回全国高等学校総合文化祭（広島大会）への派遣

平成28年7月30日から8月3日までの5日間、開催地広島県へ15部門20校生徒168人を派遣した。

4(3) 近畿高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第36回近畿高等学校総合文化祭（兵庫大会）への派遣

平成28年11月11日から11月27日までの17日間、開催地兵庫県へ16部門20校生徒281人を派遣した。

4(4) 羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業

ア 「あわ文化検定」事業

平成28年度に公立全中学校で活用できるよう配布した「あわ文化テキストブック」の改訂版及び教師用指導資料を作成するとともに、全ての公立中学校1年生、2年生を対象に、あわ文化教育を実施し、35名の「あわっ子文化大使」が誕生した。

イ 「あわっ子文化大使」活躍事業

「阿波人形浄瑠璃」及び「阿波遍路道」の英語版パンフレットを作成し、外国人留学生たちにパンフレットを活用しながら現地を案内する活動を行った。

ウ 「あわっ子文化大使」スキルアップ事業

各中学校での「あわ文化教育」を推進するため、各中学校の「あわ文化教育」推進担当者を対象に、「あわ文化教育リーダー研修」を実施した。

エ 徳島県中学校総合文化祭開催事業

平成28年11月19日～23日にかけて、文化の森総合公園において、美術・書道作品展等へ1,156点の作品展示及び知事賞等111点の表彰、中学生による舞台発表（3校）を実施した。

オ 全国中学校総合文化祭派遣事業

全国中学校総合文化祭（大分大会）に、本県の文化祭に活かすため、代表として舞台発表部門、展示部門から29名の生徒を派遣し、他府県の舞台発表や展示の観賞をした。

5 文化の森総合公園の整備・充実（文化の森振興本部）

5(1) 積極的な資料収集と魅力ある常設展示や企画展の開催などを通じた普及・文化活動の充実

各文化施設の維持管理、運営に努めるとともに、美術品等の取得を行い資料の充実を図った。また、「トクシマ恐竜展」や「ベルギー近代美術の精華展」など魅力ある様々な企画事業を開催するとともに、各種普及事業を実施し、県民文化の振興に努めた。

○ 文化の森総合公園入館者数

施設 年度	図書館	博物館	近代 美術館	文書館	21世紀館	鳥居龍蔵 記念博物館	合計
平成28年度	430,379 ^人	253,686 ^人	119,287 ^人	43,816 ^人	162,541 ^人	34,670 ^人	937,116 ^人

(注)「合計」は、共催等による重複調整を行っているため、各館の合計とは一致しない。

5(2) 県立近代美術館サテライト・ギャラリー事業

県庁11階の「県庁ギャラリー」、県庁1階の県民サービスセンター、県立病院（三好・海部）、西部総合県民局（美馬庁舎・三好庁舎）及び南部総合県民局（阿南庁舎）にサテライト・ギャラリーを設け、県民の憩い・癒しの場を形成することで地域活性化に努めた。

2 歴史・文化の継承と活用

1 文化財調査の促進（教育文化課）

1(1) 埋蔵文化財の所在調査

ア 発掘調査

平成28年度那賀川河川改修事業（加茂堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査4業務（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

イ 出土品整理

四国横断自動車道（阿南～徳島東）関連の埋蔵文化財の出土資料整理3業務（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

1(2) 天然記念物の調査

四国山地カモシカ通常調査 県内8市町（旧12市町村域）における、生息環境、生息状況、生息密度、DNA分析調査及び食害調査等の実施

2 文化財の保護管理（教育文化課）

2(1) 文化財の指定

徳島県文化財保護審議会を運営し、文化財の指定に向けて審議等を行った。

2(2) 指定文化財管理

ア 文化財パトロール事業の実施

文化財巡視員（非常勤特別職）による指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の点検を行った。

イ 指定文化財の小修理、環境整備事業の実施

ウ 指定文化財の防災設備等の保守点検の実施

3 文化財の保存整備活用（教育文化課）

3(1) 文化財の保存整備活用

ア 重要文化財等の保存修理

(ア) 国選定「美馬市脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施

(イ) 国選定「東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施

(ウ) 国指定「紙本墨書二品家政所下文」保存修理事業の実施

(エ) 国指定「木造聖観音坐像」保存修理事業の実施

- (カ) 県指定「青蓮院木造十一面観音立像」保存修理事業の実施
- (カ) 県指定「徳善家住宅」保存修理事業の実施
- イ 史跡の整備活用
 - (ア) 守護町勝瑞遺跡支援事業の実施

3(2) 文化財情報の発信

- ア 文化財PR資料の作成
 - (ア) 「2016発掘とくしま」パンフレットの刊行
 - (イ) 文化財保護強調ポスターの印刷，配付
- イ 展示会開催等
 - (ア) 「2016発掘とくしま」の開催
 - 速報展 平成28年6月14日～7月10日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - 調査成果報告会 平成28年6月26日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - おもしろ古代体験 平成28年7月3日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - (イ) 「四国遍路・鳴門渦潮」展の開催
 - 講演会 平成28年11月12日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - 特別展 平成28年11月3日～11月23日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - (ウ) 「先人からのメッセージ地震・津波碑」展の開催
 - 講演会 平成28年12月4日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
 - 特別展 平成28年11月26日～12月25日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

4 文化財の愛護思想の高揚（教育文化課）

4(1) 文化財の人材育成

- ア 養成講座・研修会等の実施
 - (ア) 文化財指導者講習会の開催
平成28年11月14日
徳島県市町村文化財保護審議会連絡協議会創立45周年記念大会と兼ねて開催
 - (イ) 市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会の開催
平成29年1月19日，平成29年2月17日開催

4(2) 郷土文化教育の推進

- ア 埋蔵文化財を活用した学校教育の支援
校外行事等による徳島県立埋蔵文化財総合センターの活用や，移動教材・出前事業等の実施により学校教育へ積極的な支援を行った。

5 歴史・文化の情報収集（文化の森振興本部）

5(1) 本県の歴史・文化に関する情報，資料の収集

県立博物館及び県立文書館において，歴史的文化的価値を有する資料の積極的な収集を行った。

6 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録の推進（総合政策課広域連携室，教育文化課）

8月8日，四国4県と関係58市町村を代表し，4県知事が「世界遺産暫定一覧表」への追加記載を目指した「提案書」を文化庁長官に提出した。四国の産学民官95団体で組織する「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会においては，資産の保護手法や顕著な普遍的価値の証明方法について検討を行うとともに，四国4県では資産の保護のため，「遍路道」・「札所寺院」の国史跡指定に向けて，文化財の詳細調査及び指定範囲の測量を行った。

本県においては，第5番札所「地蔵寺」と第66番札所「雲辺寺」の文化財総合調査，「地蔵寺」の測量調査を行うとともに，第66番札所「雲辺寺」周辺の遍路道「雲辺寺道」の調査報告書を作成した。2月9日には，「鶴林寺境内」（勝浦郡勝浦町），「太龍寺境内」（阿南市），「雲辺寺道」（三好市）が新たに国史跡に指定された。

また，国史跡「恩山寺道」，「立江寺道」において，地元教育委員会と連携してウォーキングイベントを開催し，遍路道の魅力をPRした。

3 科学技術の振興

1 総合的な科学技術の振興（総合政策課，新未来産業課）

1(1) 徳島県科学技術憲章に基づく振興

「徳島県科学技術憲章」に基づき，「徳島県科学技術振興アクションプラン」の推進や「科学技術・未来創造シンポジウム」の開催等，総合的な科学技術の振興を図った。

1(2) 科学技術振興計画の推進

「徳島県科学技術振興計画（平成26年3月改定）」に基づき，戦略的推進分野である「ヘルステクノロジー」，「LEDテクノロジー」，「フードテクノロジー」，「エネルギーテクノロジー」，「ロボットテクノロジー」をターゲットに科学技術振興施策を推進した。

2 科学技術を担う人づくり（総合政策課，新未来産業課，にぎわいづくり課）

2(1) 表彰制度等を通じた人材の育成・確保

本県の科学技術を支える優れた人材の育成・確保を図るため，「徳島県科学技術大賞」及び国の表彰制度を活用し，技術者等の科学技術振興に対する意識の高揚と意欲の増進を図った。

2(2) あすたむらんど（子ども科学館）の管理運営

未来を担う子ども達が，遊びや体験を通じて科学に関する心や姿勢を培い，創造性豊かな青少年の育成を図るため，あすたむらんど（子ども科学館）の適正な管理運営を行うとともに，企画展など様々な事業を実施した。

3 研究開発基盤の充実（新未来産業課，工業技術センター）

3(1) 技術シーズ創出調査事業

県内企業の新製品開発や新事業の創出を図るため、提案公募型研究開発事業実施に向けて、必要なデータ収集等のための予備的な共同研究16件を実施した。(16,800千円)

4 スポーツ・レクリエーションの振興

1 生涯スポーツ活動の推進（県民スポーツ課）

1(1) 総合型地域スポーツクラブ運営力向上事業

各地域に創設されている総合型地域スポーツクラブに対して、人材育成、クラブ間のネットワークづくり等の多面的な支援を行い、機能強化を図ることにより、地域住民が「総合型地域スポーツクラブ」を大いに活用できるよう基盤整備を行った。平成28年度までに35クラブが設立された。

事業内容	実績
クラブマネジャー養成講習会	回数：1回 受講者数：5名 修了者数：5名
スポーツ指導者派遣事業	キッズスポーツインストラクター等、スポーツ指導者を総合型クラブに派遣：7クラブ、計59回
情報発信事業	総合型地域スポーツクラブの活動リーフレット作成 県内医療機関700ヶ所に配付、部数4,000枚
広報・啓発事業	設立準備クラブへの指導・助言 5回 既存クラブ等への会議参加及び指導助言 17回 県内総合型地域スポーツクラブ活動紹介パネル展示 3回
事務局運営	全国広域スポーツセンター連絡協議会、研修会等への参加及び情報収集

1(2) スポーツで課題解決支援事業

ア みんなでつくろう！健康とくしま県民会議「運動と健康づくり専門部会」の開催
運動や身体活動を活用した健康づくりについて協議した。

第1回：平成28年9月7日 第2回：平成29年3月1日

イ 高齢者のロコモ予防実践モデル事業

「ロコモ」を予防することにより、運動習慣の定着や食生活の改善など個々の行動変容が期待できるとともに、将来的な介護予防や健康寿命の延伸に寄与すると考えられる。そこで、総合型地域スポーツクラブにおいて大学や地域の保健医療分野と連携したロコモ予防のモデル事業を実施し、県民の健康づくりの推進を図った。

実施クラブ	所在地	実施会場	回数	参加者数
あなぶきスポーツクラブ	美馬市	穴吹スポーツセンター	15回	268名
NPO法人徳島スポーツクラブ カバロス	徳島市	カバロススタジオ他	14回	133名

ウ メディカルフィットネス普及事業

総合型クラブ指導者、徳島県スポーツ推進委員等を対象に大学教員による健康づくりに必要な理論に関する講話及び健康運動指導士による実技研修を実施した。

- 開催日 平成29年1月28日（土）
- 会場 阿南スポーツ総合センター サンアリーナ
- 内容 講義「地域スポーツ指導者が活躍できる環境を考える」
徳島大学大学院 総合科学研究部
准教授 行實 鉄平 先生
実技「個々の体力レベルに応じた指導方法（筋力トレーニング）」
玉真病院・メックアクタス 健康運動指導士 仁木 哲哉 先生

エ スポーツサポーターリーダー養成事業

多様な技術レベルに対応可能な指導者の発掘や、とくしまスポーツすだつネット登録指導者の拡大を図るため、研修会を行った。

- とくしまスポーツすだつネット登録促進事業 登録者数H29. 3. 31現在337名
- スポーツボランティアリーダー養成事業
スポーツボランティアリーダー研修会

年月日	実施会場	内容	参加者数
H29. 3. 12	鳴門・大塚スポーツパーク	実地研修	42名

- 災害時運動支援指導者事業

災害時運動支援研修会

年月日	実施会場	内容	参加者数
H28. 12. 6	うだつアリーナ	講義及び実技	38名
H29. 1. 15	勝浦町農村環境改善センター	講義及び実技	46名
H29. 2. 5	徳島県立南部防災館	講義及び実技	38名

- 高齢者のスポーツリーダー養成事業

高齢者のスポーツリーダー養成講習会

年月日	実施会場	内容	参加者数
H29. 2. 24	鳴門・大塚スポーツパーク	囲碁ボール	70名
H29. 3. 2	吉野川河川敷公園 パークゴルフ場	パークゴルフ	87名
H29. 3. 6	旧坂野中学校体育館	ペタンク	78名

1(3) 地域活性化スポーツ共創事業

市町村と総合型クラブがタイアップし、様々な活動を行うことで、地域の活性化につなげるとともに、スポーツ実施率の向上を支援した。

事業実施団体	事業内容	参加者数
いしいスポーツクラブ	初心者のマラソン挑戦講座	95名
R e x なかがわ	スポーツいきいき交流大会	522名
NPO法人ひょうたん島クラブ	グラウンドゴルフ教室	507名
NPO法人あいずみスポーツクラブ	防災GOウォーク	52名
N A R U T O 総合型スポーツクラブ	いきいき運動教室	640名
	参加人数合計	1, 816名

1(4) Love&Fan!とくしまスポーツ活性計画

スポーツを「する」「観る」「支える」といった多様なスポーツ振興の仕組みを創るため、県民スポンサー事業として、企業及び団体からの協賛金により、スポーツイベントへの助成、情報発信などを行った。

事業名	期 日	内 容	参加人数等
とくしまスポーツ活性計画助成事業	4月～3月	18件のスポーツイベントへの助成	6,161名
とくしま発スポーツ応援事業	4月～3月	スポーツを応援する気運を高めるためのメガホン・幟等の応援グッズの貸出と小・中学生を対象にしたスポーツ絵画コンクールの実施	グッズ貸出件数 14件 コンクール応募数 425件
ファミスポカーニバルの開催	10月30日	気軽に家族で参加できるスポーツイベントの開催	約1,000名
「Love&Fan!とくしまスポーツ活性計画サイト」及び「スポーツ王国とくしま公式フェイスブック」の運営	4月～3月	本県のスポーツ情報を総合的に発信するポータルサイト及びフェイスブックの運営	総アクセス数 416,660件
Love&Fanラリーの実施	5月～3月	県内のスポーツイベントや講座を対象としたポイントラリーの実施	応募者数 387名

1(5) 『自転車でつながる人・まち』づくりプロジェクト

サイクルスポーツを通じた新しい魅力を創り出すとともに、県内のサイクルイベントの充実と継続的な開催を図り、県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興、環境対策などに繋がる方策等を検討し、サイクルスポーツ先進県を目指した。

事業名	期 日	内 容	参加人数等
自転車利用促進協議会の開催	8月・3月	既存のサイクルイベント等の検証、「自転車王国とくしま」の推進方策などを検討	会議 2回
「自転車王国とくしま」サイクルイベントの開催支援	5月～11月	四国の右下ロードライドイベントほか3イベントの開催を支援	参加申込者数 2,160名 参加者数 1,784名
ライドラリーの実施	11月～12月	自転車王国とくしまライドイベントの参加者に対して、共通のライドラリーを実施し、参加を促進する。	応募者 7名
自転車王国とくしまブランド発信力向上事業	5月～3月	・ミニガイドツーリングの実施 ・子ども向けイベントの開催 ・著名なサイクリスト招へい ・HP(ブログ)による情報発信	ツーリング回数 8回 イベント回数 4回
自転車王国とくしまグッズの貸出	4月～3月	のぼり旗やキックバイクなどのグッズの貸出	貸出 7件

2 指導者の養成と活用（県民スポーツ課）

2(1) 目指せ！オリンピック・夢はぐくみ事業

子ども達のスポーツへの関心を高め、将来のスポーツ振興につなげる動機づけとするため、子どもやその保護者・指導者を対象とした有名スポーツ選手等によるスポーツ講習会を実施した。

講習会名	期日	会場	人数	内容
淡路・徳島交流少年野球大会，阪神タイガース現役選手による少年野球教室	H28. 12. 10	兵庫県淡路市	144名	プロ野球選手による野球教室及び交流試合
徳島NEW YEAR 2017サッカーフェスタ	H29. 1. 2	徳島市球技場	170名	徳島県出身のプロサッカー選手等12名によるサッカー教室やスキル向上ゲームを実施
夢はぐくみソフトボール講習会	H29. 2. 11 ～ H29. 2. 12	あななんアリーナ	56名	元オリンピック選手による技術や戦術などの講習

3 施設・設備の整備拡充（都市計画課，運輸政策課）

3(1) 公園整備事業費

ア 南部健康運動公園

東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えたスポーツ振興を支援する陸上競技場の造成工事に着手した。

イ 鳴門・大塚スポーツパーク（鳴門総合運動公園）

ポカリスエットスタジアム（陸上競技場）において，放送室等の改築を実施するとともに，雨天走路の整備を実施した。また，オロナミンC球場（野球場）において，照明塔の改築を実施した。

ウ 西部健康防災公園

平時の健康増進と災害時の防災拠点機能を備える「リバーシブルな公園」の整備に向け，公園施設や防災拠点施設の工事に着手した。

3(2) 橘港公共用地レクリエーション施設用地の整備

県南地域における競技スポーツ・生涯スポーツの拠点づくりのため，ソフトボール場等の整備の進捗を図った。

4 競技力の向上及び3大国際スポーツ大会の推進（県民スポーツ課，体育学校安全課）

4(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力の維持向上に努めるとともに，広く県民にスポーツに対する関心を定着させ，将来にわたり本県スポーツの充実発展を期するため次の事業を実施した。

ア 競技スポーツ重点強化対策事業

小学校においては，スポーツ人口の増大や優秀な能力をもった選手の発掘と才能の伸長を図り，中学校・高等学校では，県外の競技水準の高い学校との練習試合や強化合宿を実施することにより，運動部活動の活性化と競技力の向上に努めた。

また，競技スポーツの重点的強化を図るため，競技団体の選手強化策を支援した。

○ 国体重点強化枠（成果指向型の重点強化）

過去2年間の国体で入賞実績のある18競技団体を指定し、候補選手を対象に、遠征合宿等を実施。

○ 国体直前強化枠

四国ブロック予選を突破した21競技団体に直前強化を実施。

イ 徳島トップスポーツ校育成事業

トップスポーツ校に優秀選手の集中化を進め、指導者の適正配置を行うとともに、遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより、インターハイや国体等の全国大会での活躍ができるよう支援した。

ウ スポーツ医科学推進事業

○ 医科学サポート

国体選手等を対象に、スポーツドクターやトレーナーによる選手のコンディションケアなどの支援事業を行った。

○ スポーツ安全保険加入

傷害事故に備え、国体候補選手をスポーツ安全保険に加入させた。

○ フィジカルチェック

選手の体力・運動能力を測定し、スポーツ医科学による指導を実施した。

4(2) 国民体育大会派遣事業

大会名	会 場	競 技	役員	監督等	選手	計(人)
第71回大会	岩手県	陸上他31	37	49	258	344
第72回冬季大会	長野県	スキー他1	8	2	12	22
第37回四国ブロック大会	香川県他	水泳他31	22	78	602	702
合 計			67	129	872	1,068

4(3) 徳島育ち競技力向上プロジェクト

県出身の競技者が全国大会や国際大会で活躍できるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システムの構築」と「トップ指導者の養成」を継続的に行い、県内の競技レベルの向上とスポーツ振興を図るため、競技団体から提案された事業に対し助成を行った。

団体名	期 日	会 場	事業内容
一般社団法人徳島県サッカー協会他24団体	6月～2月	徳島市 鳴門市 他 板野町	一貫指導推進委員会の運営と育成プログラムの実施 (強化練習会, 指導者講習会, 遠征・合宿等)

4(4) 3大国際スポーツ大会「スポーツ・レガシー創出」事業

ア ラグビーチームキャンプ地誘致関係

ラグビーワールドカップ2019における公認チームキャンプ候補地登録及び事前チームキャンプ地誘致に向け、参加決定国への訪問誘致活動などを実施した。

イ 東京オリンピック事前キャンプ地誘致関係

五輪事前キャンプ地誘致に向け、カヌー、柔道、ハンドボールなどのスポーツ交流の実施、指導者の相互派遣、視察の受入、競技環境の改善等の事業を行った。

ウ ワールドマスターズゲームズ2021関西推進関係

10月26日に会場地が決定されたことから、国際スポーツ大会県内準備委員会に会場準備部会を設置して会場準備を開始するとともに、競技運営に関する情報収集の実施や関連イベント等の開催支援を行った。

エ 3 大国際スポーツ大会機運醸成関係

3 大国際スポーツ大会の周知、徳島県へのキャンプ地誘致、競技開催の機運醸成のため、イベントの実施や関連競技大会での広報啓発を行った。

5 学校スポーツ活動の活性化（体育学校安全課）

5(1) 地域スポーツ人材の活用実践支援事業

ア 外部指導者の活用

中・高等学校の運動部活動の活性化を図るため、39人（中学校16校24人、高等学校11校15人）の外部指導者を派遣するとともに、外部指導者及び運動部活動顧問に対する研修会を開催した。

また、スポーツ指導者派遣実施校に、医・科学の専門性が高い指導者を派遣し、県内中・高等学校の27会場にて研修を行った。

5(2) 子どもの体力向上指導者養成研修事業

子どもの体力を高めるための学習指導の在り方等について、指導者としての必要な知識や技術の習得を図るために4人（小学校2人、中学校1人、高等学校1人）の教員を派遣する予定であったが、熊本地震のため中止となった。

6 プロスポーツによるにぎわいの創出（にぎわいづくり課）

6(1) エンジョイ☆プロスポーツ事業

プロスポーツの楽しさ・素晴らしさをより多くの県民に伝えるため、徳島ヴォルティス、徳島インディゴソックス両チームの招待事業や優秀選手の表彰を実施した。

6(2) 徳島ヴォルティスにぎわいアップ事業

県民が一丸となって徳島ヴォルティスを応援する機運を醸成するため、県内市町村と連携し、「徳島県民デー」を実施した。また、試合会場での観光PR等を実施し、交流人口の拡大を図った。